

教えてください、あなたのことを。⑫

東京都世田谷区 阿部 晴子 さん (NPO 法人えこひろば代表
環境カウンセラー)

つなげるつながる会員さん



Q 差し支えなければ、年齢、出身地を教えてください。

A 昭和24年に東京で生まれ、30歳代に家族とカナダで過ごした3年間を除けば、ずっと世田谷に住んでいます。空き地や原っぱのある緑豊かな住宅街が高速道路やコンクリートの街に変わっていくのを見てきました。

Q ごみ問題に関心を持つようになったのは、いつ頃で、どんないきさつからですか？

A もともと生物やその周囲の環境に興味がありましたが、ごみの処分場も足りないのにこんなにごみを沢山出す暮らし方で大丈夫なの？という素朴な疑問から、世田谷区のごみ問題の講座に参加したのがきっかけです。仲間ができて地域と一緒にできることを探しているうちに、20年以上も経ってしまいました。

活動の中で学んだことは、ごみ問題は暮らし方や社会全体の問題だということと、ごみに関心のない人への働きかけがとても大切だということです。区の小さなリサイクル啓発施設で「押しかけ」啓発活動を始めた仲間で、13年前に『NPO 法人えこひろば』を作りました。合言葉は「楽しく、お得に、省資源」。主に世田谷区内で、裂き布ぞうり作り等の体験型の講習会の開催や、情報紙「えこひろばだより」(年3回発行)の発行を通して、資源やエネルギーを大切にする暮らし方を地域に広げる活動を続けています。

Q 特筆すべき近況があれば、教えてください。

A NPOになる前から取り組んできた「家庭でできる生ごみ堆肥作り」は、野菜作りの強力メンバーが講師陣に加わって、区との協働事業として人気の講習会になりました。ごみの減量には関心のなかった人たちも参加して、生ごみ堆肥で育てた美味しく安全な採れたて野菜の収穫を楽しんでいます。

今年は世田谷(成城ホール)で「第18回東京23区とことん討論会」が8月7日(水)に開催されることになり、えこひろばも参加して、主に午後の子ども対象のオープン企画を担当します。

「ごみっと・SUN」を読むだけの会員ですが、全国各地のさまざまな行政の取り組みや生ごみ関連の市民活動、海外事情など興味深い記事が多く、共感したり励まされたりしています。これからも貴重な情報を楽しみにしています。

えこひろばホームページ <http://home.e00.itscom.net/eco>
「NPO 法人えこひろば」で検索

